

社団法人 埼玉私保連



広報

No.113

H24. 3. 21

発行



「大好き 保育園の給食」

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

◆ 調査部報告 ◆

調査部では昨年12月に「入園に際しての保護者との取り決めアンケート」を行いました。ここ数年来保育園では、個人情報・保健（感染症等）・危機管理などの面で保護者への説明で苦慮することも増えてきました。

時代の変化の中で、保育園としても保護者との取り決め事項を書面を通して行う必要を感じているもののなかなかうまく文書化することは後手にまわっているのが現状ではないでしょうか。

今回文書化されている保育園の文例を12月末に送付しましたので参考にしてください。アンケート内容は以下のとおりです。

1 保育園の方針に関すること

例) 保育理念・保育方針・特色ある保育について

2 保健関係全般

例) 持病がある場合の対応について・登園を控える発熱の基準・急な発熱・病気の際のお迎えについて・登園停止・感染症について・予防接種・投薬について

3 怪我・トラブルの対応

例) 怪我の対応・子ども同士のけんか・かみつき・ひっかきについて・園児傷害保険について・急な怪我、病気の場合園が病院に連れて行く場合について

4 防犯・防災について

例) 緊急避難場所・避難訓練・災害時の対応等

5 行事参加について

例) 年間行事・保護者の参加行事について・園のデイリープログラム

6 持ち物について

例) 衣類の注意点・持ち物・持ち物の記名・紛失の場合の責任

7 保育時間・慣れ保育等について

例) 延長保育について・有料延長料金について・送迎時の注意点・慣れ保育の進め方

8 食事関係

例) 離乳食の進め方・食物アレルギーの対応について

9 連絡について

例) 緊急連絡について・連絡帳の記入について

10 個人情報について

例) 園での情報の利用目的・保護者の方が知り得た情報を外部に漏らさない等

11 苦情解決システム・苦情対応について

12 食中毒発生の場合の検査について

13 子どもの写真掲載について

<個人情報についての同意書例>

同意書

〇〇保育園ではホームページ・入園のしおり等で保育園の運営上必要と判断される場合に限り園児等の写真を掲載することがあります。

このことについてどちらかに〇を記入してください

同意します

同意しません

社会福祉法人〇〇〇〇会

●● 保育園長

△△△△ 宛

平成24年 月 日

保護者名

研 修 報 告

議題 : 保育の市場化アメリカの保育からみる「子ども子育て新システム」

日時 : 2012年1月24日(火) 13:00~16:30

会場 : 埼玉会館7B会議室

講師 : 中山 徹氏 (奈良女子大学大学院人間文化研究科教授・大阪保育運動連絡会会長)

前日より埼玉に押し寄せた寒波で、当日は交通網の混乱もありましたが、会場は保育の市場化を懸念する会員たちの熱気にあふれての開場となりました。初めに遠藤副会長より私たちの社会に起きている児童虐待、公職による不祥事、などの問題から、地域社会のあるべき姿の復興を願う挨拶で始められました。

中山先生のお話は子ども子育て最終案の現状、今後の政府や国会の流れの説明がスケジュールとして報告があり、その後、子ども子育て新システムについて、1. 新システムの概要 2. こども園とは 3. こども園の仕組み 4. 新システムのねらい 5. 新システムのもたらすこと がレジメに沿って話されました。

制度案要綱は制度の事業主体は市町村で私たち保育所は指定制となり、現在の介護保険と同様なシステムになります。消費税増税の時期と同じく2015年認可施設は大半が総合施設に移行と具体的な計画が話されました。現在の幼稚園と保育所の制度の煩雑さや待機児童解消、幼稚園の充足率の解消などが今回の新システム移行となっているものの、実際には、保育サービスという各施設の方向性により、保護者負担の自由裁量や保護者の選択が逆に施設が利用者を選びかねないシステムに、子どもの最善の利益の保証が担保できるのだろうかという不安を感じる内容でした。

児童福祉法24条には「保育所への入所」として市町村の責任が明記されているが、この部分が改正されてしまうことは、非常に懸念されることにも触れておりました。アメリカの実態の報告も具体的に説明され、差別化の状況も報告がありました。また、価格制度の一本化では現在の医療機関に例え、参加者にわかりやすい形で説明されました。

最後に、新システムはまだ、可決されていないこと、最後の最後まで声を大にして反対をすることの重要性を話されました。その後、質疑応答では各法人の理事や園長から質問が出され、予定時刻を過ぎる研修会となりました。閉会の挨拶では水上副会長から新システム反対とまとめの挨拶がありました。当日は中山先生著作「よくわかる子ども子育て新システム」「これならできる待機児童解消」かもがわ出版、各600円の2冊が販売されました。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。(研修部)

施設訪問ごはんには

訪問先 (さいたま市)

あおぞら保育園

園長 大野 智子先生

さいたま市上落合、旧大宮市の中心地、国道一七号を南にそれた住宅地の中に、あおぞら保育園はありました。

ゴムチップの園庭は海・陸・空をイメージしたと言うデザインが施され、そこに浮かぶように三階建ての園舎があります。1階部分が0〜2歳児の保育室・事務室・調理室、2階部分は、3〜5歳児保育室・一時保育室、3階部分は、子育て支援センター、子育て支援相談室と



なっています。

国際学院埼玉短期大学(幼児保育学科・健康栄養学科・専攻科)の協力体制の下、理事長でいらっしゃる大野誠先生が、社会福祉法人誠心会を設置、平成十五年認可を受け、あおぞら保育園の歴史の1ページが始まりました。以来、大野誠先生の著書である「子供に大切なことは【食卓】で学ばせたい」〜豊かな人生を育む食育原論〜中に込められたメッセージ「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」を法人理念として掲げ、一貫した食育を通して、子どもたちの育ちをサポートしてまいりました。

●行事食を通して食育を実践

一年を通して、日本古来より伝えられてきた季節の行事(子どもの日・七夕・お月見・七五三・お正月・鏡開き・豆まき・ひな祭り等)それぞれのお祝い膳を用意し、園長先生自身が行事に纏わるお話を子どもたちに伝えていきます。

ちょうど、節分が過ぎた頃の訪問でしたので、その時の様子詳しく伺いました。フェルト製の恵方巻のパーツと七種の具

材と七福神のカードを取り出され、双方を結びつけ節分のお話を進めながら、具材をひとつひとつフェルト製のご飯の上に載せ、黒いフェルトの海苔でくるくる巻いて恵方巻きの出来上がり。『今年の恵方はね…こっちかな』と恵方を向いてパクッ！

このパフォーマンスに子どもたちは大喜びだったそうです。楽しみながら、見て聞いて古来の行事の意味を知ることができるとのこと。素敵ですね。あおぞら保育園の行事は、このように、必ず、食と関連させて考えられています。

季節の変わり目を肌で感じ、生きていくことへの感謝の念を育み、何れ、成長した子どもたちが、なんか聞いたことある、見たことあると言う感覚が心に残



れば…。と言う願いを込めて食事を作っていらっしゃるのです。年に一回、希望する保護者の方へ、試食懇談会を開いており、パワーポイントを使用して栄養士が行事食や保育園の給食状況について説明を行っています。これは、試食だけでなく、意味合いも含めて保護者の方へ伝えることで、食べ物や作ってくれた人へ感謝する心を親子で学ぶ場を提供していらっしゃると思います。

月に一度、食育の日が設けられ、子どもたちへの栄養指導も行われています。

●愛情いっぱい！

開園当初、大野智子園長先生のお宅で受け継がれてきた糠床を分けて、保育園の糠床を作り、



季節の野菜の糠漬けをしている
 そうです。
 身体の中で大切な役割を果たす乳酸菌を含む食べ物と例えば、西欧のヨーグルト、韓国のキムチが浮かびますが、日本にだって乳酸菌をふんだんに含んだ糠漬けがあると、給食の一品として出すようになったそうです。
 子どもたちに身体の中から元気になって欲しいとの願いと園長先生の愛情が込められています。

●よい子のお約束・食事のお約束
 年長組の給食の準備におじゃましました。子どもたちは、個人持ちのランチョンマットを敷き、箸を揃えて、姿勢良く椅子に座り配膳を待っていました。副食は給食室で配膳されたもの

が配られますが、ご飯と汁ものは温かいものを食べさせたいとの配慮から保育室で配膳していました。配膳が終わると、手あげ副食の量を加減してもらっています。勿論、食べ終えた子には、おかわりも用意されていました。

そして、アレルギー除去食対応のお子さんには、看護師が食事をチェック、専用の机が用意され待っている子どもの前で配膳、安全に管理されていました。全員の準備が揃うと、「よい子のお約束」「食事のお約束」を保育士と共に唱和、食事に対しての感謝の念を唱え、食事が始まります。

様々なランチョンマットが広げられた食卓はとても楽しそうでした。そして、個人持ちにしていることで、こぼすことが減ったそうです。ランチョンマットが汚れていることをお母さんへ知らせることでこぼしたことが伝わり、「こぼさないように食べよう」という意識が親子の中に芽生えていくのだそうです。「よい子のお約束」「食事のお約束」は各保育室に掲示され、各年齢に合わせ保育士が対応を工夫し唱和することを行っています。これは、「知らせる」「教える」「経験」していくことで全体のスキルの向上を目指し、他人に不快感を与えないこと、恥ずかしいことをしないことを示唆しているのです。また、職員教育にも共通して

おり、園長先生は、たくさん勉強して、雑学も含めて知識を増やしてください。無駄な時間とならないように思いを込めて保育をしてください。保護者の方や子どもに感謝をこめて、保育をさせていただいているという思いを常に持つようにと語っているそうです。

この思いは、保育園全体に広がっており、子ども・保護者・保育者、それぞれが感謝の念をもって生活している空間は、優しく温かい雰囲気を作っています。

●子育て支援も食事から

広い子育て支援スペースに加え、子育て相談室には、ミニキッチンを整備、離乳食の進め方教室が行えるようになっていました。試食だけでなく実際に作る過程に参加することは保護者の方にとり、願ってもないことだと思えました。

スタッフの専門性を生かした育児・栄養相談、育児講座、ベビーマッサージ等のプログラムを実施、近隣の子育て家庭の拠り所となっていました。さいたま市私立保育園協会では、食育部会（旧給食研究委員会）を組織し、先頭に立ち「ほいくえんの献立一鉄・カルシウム強化メニュー・家庭でも役立つおすすすめ献立&行事食」を編纂、地域の保育園との連携を深め、子育て家庭への支援を続けていらいっシャいます。



●「感謝」恩返しについて...

国際学院埼玉短期大学客員教授・管理栄養士でもある大野智子園長先生は、ご自分のお子さんを保育園へ預けて仕事を続けられた頃を振り返り、「保育園への思いは、感謝の言葉しかなかった。その恩返しとして保育園をやってみようと思ったのよ。」と語っていらっシャいました。

その言葉通り、保護者として、管理栄養士として、教育者としての視点を生かし、様々な形での支援を惜しまず、「この保育園なら預けて安心」と言わせる保育を実践していらっシャいました。

お忙しい中、お時間を割いていただきましたことに感謝申し上げます、さらなるあおぞら保育園のご発展をお祈り申し上げます。

✍️ 駅頭署名 ✍️

3月3日(土)、12時から1時間、大宮駅西口において保育の充実を求める駅頭署名が行われました。今年は特に、「子ども・子育て新システム」に反対の立場でチラシや看板を作成し、道行く人達に署名を呼び掛けました。当日、埼玉私保連を中心に園長・



保育士等80名が参加し、267筆の署名を集めることができました。3月現在において、署名数24,372筆、カンパ871,331円に達しております。参加された皆様、本当にご苦労様でした。



埼玉県私立保育園連盟定期総会及び研修会のご案内

定期総会

日 時：2012年5月15日(火) 10:00~12:00
場 所：埼玉会館

研修会 (同期日・同場所)

時 間：13:00~15:00
テーマ：「子どもの命を守る保育を考える」
講 師：猪熊弘子氏

講師プロフィール

ジャーナリスト・東京都市大学人間科学部客員准教授。子ども、保育、女性、家族などについて取材・執筆・翻訳。4児の母として、15年間保育園に関与。

著 書 『女たちの阪神大震災』（朝日新聞社）
『お父さんの面積』（農文協）
『なぜ子どもを殺すの？～名越康文の処方箋』（講談社）
『死を招いた保育』（ひとなる書房）
『命を守る保育者の子どもを守る防災Book』（学研）など
翻訳書 『ムハマド・ユヌス自伝』
『貧困のない世界を創る』（すべて早川書房）など



◆◆ 編集後記 ◆◆

先日、年長児と共にリュックを背負い歩いて小学校へ行ってきました。迎えてくれたのは、昨年、卒園した子どもたち、一年生です。教室へ入って行くとお花で飾られた「がっこうわくわくのかい」と書いた幕が張られ、子どもたち手作りのプログラムが用意されていました。司会進行から歌、学校紹介、自己紹介ごっこ等、グループに分かれての学校探険へと続きます。こちらの案内役も子どもたちです。すべて、自分たちで準備を行い、一時限の中で交流会をぴったり収めていました。一年生は、できたよ、やった～！年長さんは、一年生って、かっこいい！楽しかった～、おもしろかったねえ～。保育者は、みんな成長したね～。先生は、一年の違いは大きいですね。幼保小連携の取組み、それぞれの立場での感想がありました。知らない事を知る、自分より年長者を敬い年少者を労わるなどの心の動きが見えた気がして嬉しくなりました。(T・M)

時世のキーワードは「社会保障」。その中でも母親の就労を支え、雇用の活性化をもたらす『保育園』の役割はひとときわ重要です。新卒の学生さん、「社会保障」制度の一翼を担い、そして子どもたちの将来を育む保育士の仕事はそういう遣り甲斐のある仕事です。一緒にがんばりましょう！！(S・K)

毎月年長組の児童に科学遊びを教えています。毎回趣向をこらし、おもちゃとして遊べるよう心がけているのに、どうやら子どもたちの記憶に残るのは食べ物に関するものが多いようです。アンケートをとってみたら、とても楽しんでいたシャボン玉や楽器作りを引き離して、ベッコウ飴とアイスキャンディー作りが断トツだったのには苦笑してしまいました。(M・K)

事務局 (株)埼玉県私立保育園連盟 〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F
TEL 048(772)8623 FAX 048(772)8635

震災時、
ほぼ全てのメールが「遅配」された事実を
ご存知ですか？
アイティサービスシステムの
携帯メール連絡網は大丈夫です。

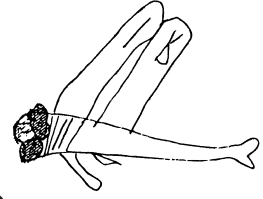
開発/販売元

アサヒパワーサービス株式会社

〒323-0822 小山市駅南町 2-26-2

TEL:0285-28-9811 FAX:0285-28-9812





保育園および園児を さまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。



**全私保連
保険制度**

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害
保険」「特別保育事業賠償責任保険」など、
保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップ
しています。また、それらを総合的に補償する
セットプランもご用意しております。



**園児総合保障
共済制度**

保育園児を24時間補償する共済制度です。
保護者にとっては
一般に比べてお得な掛金で
高額の補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、
保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

